

## 取組事例

(所定外労働削減)・(年休取得促進) 多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)



企業名：株式会社ゼンリン	所在地：福岡県北九州市
社員数：2,624名	業種：情報通信業

### 取組の目的：

年次有給休暇の取得促進及び労働時間の短縮により、社員一人ひとりが肉体的・精神的リフレッシュを図り、業務効率アップと日常生活に充実感を持つ。

### 取組の概要：

#### 〈トップメッセージ〉

全社員が日々の業務において就業時間中の生産性向上・効率化を意識し、取り組むことが重要。

#### 〈現在の取組と効果〉

##### ○年次有給休暇の連続取得

「GO連休」（5日間の連続年次有給休暇）の取得を勧奨している。

- ・取得時期は特定の時期ではなく、各部署内で業務分担を調整して取得。
- ・副次的な効果として、取得中の社員の業務をフォローすることにより、社員個々のスキルが向上し、また、取得のために業務内容を伝えあうため、社員同士のコミュニケーションの活性化が図られている。

##### ○「意識を変える／業務のやり方を変える／早くカエル」

毎週水曜日が「ノー残業デー」、金曜日が「早帰りデー」（19時退社）。

毎週月・火・金曜日についても20時退社を推進している。

##### ○職場コミュニケーションの活性化

毎月数回、ノー残業デーの水曜日に他部署との交流の場を設け、懇談会を実施。

テーマを決めて活発な意見を交換し、明るい職場を醸成している。

##### ○メモリアル休暇制度

年に1日のメモリアル休暇（特別休暇）の制度を設けている。

- ・休暇記念日のお祝い金として2,000円を支給。

#### 〈今後の取組〉

##### ○年次有給休暇の取得率の向上

年次有給休暇の平均取得日数は年々向上し、平成26年度社員平均9.4日（取得率53.1%）となったが、約1割の社員が5日未満の取得であることから、本年度は全社員が年5日以上取得するべく、各部署内での業務予定の調整等に一層取り組み、休暇の取得促進に向けより意識改革を図っていく。

**現状とこれまでの効果：**

- 「GO連休」の取得率は年々向上しており、約8割の社員が取得している。
- 毎週水曜日の「ノー残業デー」には、約8割の社員が定時退社している。
- メモリアル休暇制度については、約8割の社員が取得している。

(H27.5)